

# 2021 建築科のQ&A

## 学ぶ

### □普通科目と専門科目の割合はどのくらいですか。

建築科の学習は、普通科目 6 割、専門科目 4 割の構成です。

### □どのような内容(専門科目)を学びますか

建築科目には、木造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造などの建築物のしくみを学ぶ「建築構造」、いかに快適で使いやすい建築物にするかを学ぶ「建築計画」、台風や地震にも負けない安全な建築物かどうかを検討する「建築構造設計」、どのような手順や方法で建築物をつくるかを学ぶ「建築施工」などに加え、実験して確認したり体験を通して学ぶ「建築実習」、各科目の知識を総合して図面化する「建築製図」などがあります。

### □実習ではどのようなことを学びますか

- ・木工……椅子などの製作を通して、木材加工の基礎的な技術の習得をめざします。
- ・測量……敷地の形状を測ったり、工事に必要となる点や線の設置方法を学びます。
- ・環境……室内照度、日照、騒音など身の回りのさまざまな環境を測定します。
- ・施工実習……実物大の建築物を製作し、建築工事の方法について学びます。
- ・CAD 実習……コンピューターを使って、建築物のさまざまな図面を作成します。

### □専門科目の課題(宿題など)にはどのようなものがありますか

建築物を設計したり工事を行うには、すべて図面で表現し伝えていきます。そのため図面を書いたり見る力が必要となります。1年生がT定規と三角定規、2・3年生は製図器具を使って手書き図面を学びます。通常2～3週間で1枚の図面を学びますが、授業で書ききれなかったところは課題としています。

また、週1回の実習では毎回学んだ内容を実習レポートとしてまとめ提出します。これも実際の会社の仕事のなかで、毎日作業した内容を会社に報告する業務があります。将来に備え、レポートを通して文書や図にまとめる力を養っています。

### □男女比はどのようになっていますか

例年、入学生徒の6～7割程度が男子で、4～3割程が女子となっています。

### □どのような資格がとれますか

建築に関する国家資格の代表的なものは、「建築士」と「建築施工管理技士」です。

建築士は、建築物を設計したり、工事が適切に実施されているかチェックするのに必要な資格で、級建築士・2級建築士・木造建築士があります。建築士法の改正により、高校卒業後に2級建築士の受験資格が得られます。その後、2年間の実務経験で「2級建築士」となります。建築施工管理技士は、工事現場の責任者になるのに必要な資格で、1級施工管理技士・2級施工管理技士に分かれています。こちらも法改正により高校2年から受験可能になりました。合格すれば施工管理技士補の資格が得られます。卒業後3年間の実務経験で2級の受験資格が得られます。

## 進路

**□令和2年度卒業生の進路状況はどのようになっていますか。**

○令和3年3月卒業生(41人)

就職(公務員含む)	四年制大学	専門学校
23	16	2

**□おもな就職先はどこですか。(過去3年間)**

アーキプラン一級建築士事務所、アイピーエス、赤堀産業、浅沼組、鴻池組、杉浦組、鈴木組、常盤工業、中村建設、山平建設、浜松市役所

**□主な進学先はどこですか。(過去3年間)**

○国公立大学(4):豊橋技術科学大学(1)、長岡造形大学(2)、名古屋工業大学(1)

○私立大学(42):愛知工業大学(3)、愛知産業大学(5)、金沢工業大学(1)、国士舘大学(3)、静岡理工科大学(9)、大同大学(1)、千葉工業大学(2)、日本大学(3)、福井工業大学(3)、名城大学(2)

**□どのような職種に就いていますか。**

就職先は、建設会社が最も多く、その他は建築設計事務所・建築設備会社などです。いずれも技術職として、専門性をいかした仕事をしています。

なお、進学についても進学先の多くは四年制大学や専門学校などの建築系学科です。過去には国立高専の4年生に編入し、さらにその後国立大学の3年生へ再度編入する者もいます。

**□女子の求人数はどれぐらいですか。**

現在は求人に関して男女の指定はできませんので、原則すべての会社を対象になります。女子の就職先としては、建設会社、設計事務所、積算事務所、CADオペレーターなどがあります。男子と同様な会社に多く行っていますが、職種(仕事の内容)が事務的なものに就いている場合もあります。

## 課外活動

**□部活動との両立はできますか。**

ほとんどの生徒が毎日活動する部活動に入っています。部活動は学習活動とは異なり、他のクラスや学年の人たちと関わりながらさまざまな経験ができる貴重な場です。しかし、運動部などでは毎日活動があり疲れて家に帰ることも多く課題など心配になりますが、かえって緊張感を持って生活しているため、多くの生徒が時間を有効に使いしっかり取り組んでいます。自分の心がけ次第ですので十分に両立は可能です。